



発行所
滋 臨 技 師 会

事務局
滋賀医科大学医学部
附属病院 検査部
大津市瀬田月輪町

発行責任者
瀬 田 正 憲



医療法人社団美松会生田病院

◇目 次◇

年頭にあたって	2
平成21年秋の叙勲の栄に浴して	3
第49回近畿医学検査学会報告	4
学術論文誌の名前が決定しました	4
無料公開講座を開催して	5
冬の延暦寺諸堂巡拝と座禅修行	6・7
11月理事会議事録	8
12月理事会議事録	9
施設紹介 ～医療法人社団美松会 生田病院～	10・11
案内メールの配信開始について	15
会員動向・事業案内	16

年頭にあたって

社団法人 滋賀県臨床検査技師会
会長 瀬田 正憲

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかにご家族様と共に清々しい新年をお迎えになられたことに謹んでお慶び申し上げます。

さて、去年は、政治の大幅な変動、長く続いた自民党から民主党への政権交代が見られました。国民に示したマニフェストにより多くの施策が今後は進められていくと思いますが、従来との整合性を考えながら進めるとなると結構多難な状況が予測されます。変化を求めた国民の総意に少しでも対応し、実行されることに期待したいと思います。しかし、相変わらず日本の景気は低迷を極めており、円高傾向が顕著に見られ、一時は85円の最安値となるなど輸出産業を含め製造業の危機が叫ばれています。国内では大きく物の単価が下がり、食品、衣類など特にジーパンが1000円以下で購入できるようになるなどデフレスパイラルの傾向が見られ、企業の人件費の削減による雇用抑制、臨時、契約および派遣職員の増加などによる雇用不安から社会資本、購買意欲の減少などが出てきています。医療の分野のなかでも健康保健また国民保険などの加入率の減少により今後は大きく影響してくるものと思われます。そのなかで、今年度は保険改正の時期を迎え、厚生労働省を含め中医協のなかで協議が始まっていると思いますが、国民総医療費上昇に対する抑制が言われていますので、検査の分野はやはり減少するのではないかと考えています。



医療環境が目まぐるしく変動するなか、医療事故の報道も後を絶ちませんが、多くの病院で医療安全のための対策に涙ぐましい努力をされていることを聞くにつけ、今一度、基本に立ち戻り真摯に一步一步立ち向かっていくことしかないのではないかと考えています。

今後も、病院の、そして、検査室の置かれている環境は極めて厳しいと思いますが、日々の業務に安逸に流されることなく、コスト意識を持ち、病院のなかで、何が出来るのかをおのずから問いかけ、出来ることから実践して頂きたいと思ひます。臨床に直結した臨床検査技師として何をすれば良いのか？正確に早く臨床にデータを返すことはもとより、もう一步踏み込み医師と協働を図り、検査のことを説明できる深い知識の会得と、病棟や外来で活躍できるようなフットワークを身につけましょう。検査のプロとして専門的な知識を習得することは当然のことであり、その殻に閉じ籠もることなく、院内、院外を問わず臨床検査技師としての存在価値を高めて頂きたいと思ひます。

公益法人改革制度法の施行に基づき、当会も公益法人取得を目指しています。今年から法人会計、定款改正などの変更を目指していきますが、今後も県民に広く門戸を開けた団体として従来の学術活動、生涯活動など可能な限りの事業について公開し、開催していきたく思っています。滋賀県の精度管理事業とリンクしておこなう日臨技データ共有化事業や5年目となる「仏語圏臨床検査技術コース」の研修についても引き続きご協力をお願いすることになりますがその節には宜しくお願ひいたします。

今年も多難な1年となることが予想されますが、会員皆様と当技師会にとって目映く明るい明日が来ることを念じて年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成21年秋の叙勲の栄に浴して

大津赤十字病院 岸本 茂己



この度、社団法人 滋賀県臨床検査技師会のご推挙により、平成21年秋の叙勲におきまして、瑞宝雙光章を受章させていただきました。身に余る光栄と存じておりますとともに皆様に感謝申し上げる次第であります。

平成21（2009）年11月11日の菊薫る秋たけなわの日に、叙勲者の末席に連ねさせていただきました。皇居に参内し豊明殿において天皇陛下からお祝いとねぎらいのお言葉を賜りましたことは、この上ない慶びと感激いたしております。

さて、私は大津赤十字病院に勤務させていただきながら微力ではありますが、技師会の運営に協力させていただいたことが受章に繋がったものと思います。

顧みますと、昭和44（1969）年から今日まで、病院では素晴らしい上司、同僚、後輩にめぐまれたなかで臨床検査技師としての業務を遂行させていただきながら、

技師会関係の業務もたずさわらせていただきました。

昭和51（1976）年～昭和54（1979）年の間理事を勤めさせていただきました以後は研究班の班役員や班長として研究班事業を手伝いました。

昭和59（1984）年に滋賀県臨床検査精度管理事業が開始されて、委員として8年間お世話させていただき、続いて平成4（1992）年～平成12（2000）年までの8年間を精度管理委員長として精度管理事業の大変重要な業務をさせていただきました。

平成12（2000）年から平成20（2008）年までの間に常務理事、副会長をお引き受けする中で技師会活動の中核業務を担当させていただきました。この間には、社団法人 滋賀県臨床検査技師会設立50周年記念式典の挙行、第45回近畿医学検査学会の開催担当、（社）滋臨技会議室の取得、さらに当会の名称を知事の認可を得て社団法人 滋賀県臨床検査技師会に変更できたこと等々、事務局担当理事としてさまざまな企画運営に参画できましたことは、私の大きな糧になりました事を感謝いたしている次第であります。

今回の受章に関して推薦をしていただきました会長をはじめ理事、役員の皆様に深く感謝申し上げます。

今後は、当会の会員として、また臨床検査技師として技師会活動や保健衛生事業に可能なかぎりお手伝いをいたしたく存じますとともに、社団法人 滋賀県臨床検査技師会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝を祈念申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。

第49回近畿医学検査学会報告



平成21年11月28日（土）・29日（日）の両日にわたって、京都市の“みやこめっせ”において第49回近畿医学検査学会が開催されました。2日間の参加人数は1,389人で、多くの方々が参加され、成功裏のうちに幕を閉じました。上の写真はその一部です。

第50回近畿医学検査学会は平成22年12月11日（土）・12日（日）に奈良県文化会館をメイン会場に開催されます。テーマは「まほろばにて温故知新・・・明日につなげる臨床検査」です。

そして、第51回近畿医学検査学会の開催県は滋賀県です。会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

第51回近畿医学検査学会開催予定

日時：平成23年10月29日（土）・30日（日）

会場：ピアザ淡海 他

学術論文誌（滋賀県臨床検査技師会誌）の名称が決まりました！

『滋賀医学検査』

英語名は『Shiga Journal of Medical Technology』

会員の皆さまの投稿をお待ちしています。

投稿をお考えの方は下記までご連絡をお願いします。論文投稿に必要な資料一式をお送りいたします。またご意見やご質問がありましたら、遠慮なくお知らせください。

「滋賀医学検査」編集委員会事務局 内木 喜美江
（勤務先）近江八幡市立総合医療センター 中央検査科
〒523-0082 近江八幡市土田町1379
TEL:0748-33-3151 FAX: 0748-33-4877

無料公開講座を開催して

社会保険滋賀病院 検査部 吉田 章子

去る12月12日(土)、ピアザ淡海にて無料公開講座を開催致しました。今回は「忍びよる感染症 エイズのことを中心に」と題し、社会保険滋賀病院血液内科・検査部・ICT部長の井上徹也先生に御講演頂きました。内容はエイズ・HIVの基礎知識、現状から治療法(HAART療法)や予防等について、また2003年に猛威を奮ったSARSからタイムリーな新型インフルエンザに至るまで、様々な感染症を採り上げて分かり易く教えて頂きました。

ところで皆さんは“レッドリボン”ってご存知でしたか？私は恥ずかしながら最近になって知りました・・・乳がん予防活動のシンボルマークである“ピンクリボン”が良く知られていますが、歴史はレッドリボンの方が古いのだそうです。また12月1日は「世界エイズデー」ということもあり、今月は世界中で様々なイベントが催されています。そんな中で滋賀県でもエイズを含めた感染症について勉強する機会を得たことは良かったのではないかと思います。エイズは日本でも増加傾向にあり、2007年の新規感染・発症者は約1500人と過去最高となりました。これは1日に約4人が感染・発症していることになり、HIVの感染予防の徹底は急務です。エイズに限ったことではありませんが、「正しい知識をもち、正しく予防することが大切」だと井上先生も強調されておられました。

今回は、技師会員及び県民の方々合わせ26名の方に御参加頂きました。また、同日18時20分にはBBCびわ湖放送にて今回の模様が放映されました。

最後になりましたが、講師の井上先生と本研修会開催に際し御尽力頂きました滋賀県健康づくり財団の桐畑邦弘様をはじめスタッフの皆様、そして後援の滋賀県、大津市、京都新聞滋賀本社、BBCびわ湖放送、NHK大津放送局の方々に厚く御礼申し上げます。



冬の延暦寺諸堂巡拝と座禅修行



厚生部事業「冬の延暦寺諸堂巡拝と坐禅修行」に参加して

自宅会員 近藤 和子

紅葉の見ごろも少し過ぎた12月13日(日)、厚生部事業として企画いただいた「冬の延暦寺諸堂巡拝と坐禅修行」に参加しましたのでご報告します。

当日は、前日の好天からすると日差しは頼りなく、時々小雨もパラつくといった生憎のお天気でした。気温も、12月としては平年並みだということでしたが、これまでが暖冬であったためか、とりわけ肌寒く感じられました。

午前9時、京阪坂本駅に集合した一行は、苔むした穴太積みに感嘆しながらも坂本ケーブル乗場へと向かいました。到着した駅舎は、真ん中に達磨ストーブが置かれているなど、ローカルでホッとするいい雰囲気。ケーブルカーに乗り込む前には、愛想のいい駅員さんにシャッターをお願いして、参加者全員でポーズを決めて、「ハイ、チーズ」。改札時には、カイロもいただけて、何か得した気分。参加者の笑顔と人情に触れられて、心はホカホカになりました。

定時に出発したケーブルカーは、急斜面を登り、11分程で山頂駅へ。レトロな山頂駅に到着すると眼下には琵琶湖の絶景が臨め、感動のひとつ。霞が少しかかっていたのですが、沖ノ島の向こうに北湖が綺麗に見渡せるなど、身近な観光スポット発見に嬉しくなりました。数多の修行僧達も、厳しい修行の合間に、この景色にさぞや心癒されたことであろう・・・などと想像してみました。

10分程歩くと、鐘楼が見えてきました。願いをこめて一撞。「お寺にやってきたなあ」と実感する一瞬です。一行は、大講堂や阿弥陀堂、伝教大師御廟を通して、険しい参道に悪戦苦闘しながらも西塔エリアへ到着。古びた中にも敢然と建つ釈迦堂の荘厳さには悠久の歴史を感じました。少し休憩した後、再び来た参道に戻って、東塔エリアへ。途中の常行堂（にない堂）では張り詰めた空気の中で若い修行僧の勤行の音が響き、修行の場に来ていることを改めて認識しました。

お昼少し前、東塔エリアに到着した一行は、参拝者の宿泊施設も併設する「延暦寺会館」へ。いよいよお待ちかねの精進料理です。といっても、私にとって精進料理は、以前、高野山でいただいた一汁一飯の質素なお料理がトラウマになっていて、本日の気分は少々ブルーといったところ・・・が、ところがです。朱塗りの高貴な食器に盛られたお料理の数々は、何とも美味なのです。「エ～っこれが精進料理??」。いやいや、この精進料理は、精進料理といえども別物。特に、お刺身風でいただいた湯葉は、トロトロのモチモチで感動ものでした。きっと、私たち参拝者のために、延暦寺は、二度と御免被りたいと思わせない為に特別な料理を提供してくれているのでしょう。これは、延暦寺の配慮以外の何物でもありません。比叡山の修行僧達が同じものを食しているとは到底思えません。でなければ、高野山の修行僧とでは、待遇面で『月と鼈』。中国に渡った『最澄と空海』（ここまで言うと言い過ぎでしょうか）しかも、ご飯は炊き立ての近江米です。おかわりも自由なので、皆さん、次の行事（坐禅）のことは暫く忘れて・・・食欲を十分に満たしていらっやいました。まさに至福のひとつを過ごされたご様子でした。ここにアルコールでもあればなあ・・・なんてことを言えば、不謹慎ですかね。

さて、お昼が済めば、いよいよメインイベントであります坐禅タイム。一連の説明と準備を済ませた後は、止観鐘を合図に心を静め、坐禅止観の境地へ・・・20分ほど経って足も痺れだした頃でしょうか、直堂さん（お坊さん）がどうやら警策（背中を打つ棒）を入れ始める様子。その強弱は選択自由とのことですが、好奇心旺盛な同行の連れは・・・やはり強打の選択でした。パンパン・・・部屋には強烈な警策打が響き、その音に一瞬凍りつきました。以後、私も含めた参加者の選択はといいますと・・・これは読者のご想像にお任せしますが、いずれにしても痛かった・・・というのが正直な参加者の本音・感想でしょう。

坐禅の後の直堂さんからのお説教は、普段の生活の中で、たとえ10分、5分でもいいから、振り返りの時間を持って欲しい。自己を見つめる時間を見つけて欲しいという、気ぜわしく生き急ぐ我々に対して、警鐘を鳴らすお話でした。

私たちは、ただ同じように繰り返される毎日に流されてはいないだろうか。『少し立ち止まってみる時間も持たなければいけないなあ』と考えさせられる内容でした。

坐禅の後は、神聖な気分で文殊楼や根本中堂を巡り、各所のフォトスポットで記念撮影を済ませ、午後3時ごろには現地解散となりました。

最近、発心して四国や近隣のお寺を巡り始めたこともあって、今回の厚生事業に参加させていただきましたが、伝教大師である最澄さんの言葉を借りるならば、今回の企画は、まさに私の心に『一隅を照らす』事業であり、企画・実施をしてくださった役員、理事の皆様には心から感謝申し上げる次第であります。本当にありがとうございました。（合掌）

平成21年11月定例理事会 議事録

日時：平成21年11月5日（木）17:00～18:30

場所：技師会会議室

出席者：瀬田、吉田孝、入野、竹島、山本、横山
大本、吉田忠夫、桐畑、新川、松村、
一岡、速水、岩井（監事：阪口）

欠席者：内木、岡本、（監事：立脇）

司会：山本 常務理事

1・会長挨拶

2・報告事項

「日臨技」特になし

「近臨技」

1・会長会議

日時：10月 2日（金）17:30～19:30

場所：大阪府技師会事務所

議題：①日臨技会長・副会長選挙について
近畿技師会として、会長に小崎氏、
副会長に富永氏を推薦する。

②近畿技師会の運営について

OB会のあり方については幹事会を
設けて協議する。

2・フランス語圏臨床検査技術コース（JICA・JIMTEF）

日時：10月24日（土）10:30～19:00

場所：JICA大阪

内容：アクションレポート発表会および閉校式

3・会長会議の開催

日時：11月2日（月）18:00～20:00

場所：大阪府技師会事務所

議題：①日臨技会長・副会長選挙について

会長、副会長選挙の動向について協議

②近畿選出地区理事の推薦について

推薦枠（3名）について協議

「滋賀県」

1・各部の会計執行状況について

2・会議室の使用状況について

3・がん診療連携協議会の開催について

日時：10月30日（金）15:00～16:30

場所：草津まちづくりセンター

議題：各部会の進捗状況について

がんフォーラムの開催について

4・公益法人会計業務の進捗状況について

5・各地区健康フェアについて

第一地区 支部長：清水定兵衛

・彦根健康フェスタ2009

日時：10月12日（月）

場所：彦根市民体育センター

内容：パネル展示

パンフレットの配布

血管年齢測定

来訪者：140人

第二地区 支部長：橋本道夫

・2009石部の宿まつり

日時：10月17日（土）

会場：雨山文化運動公園

内容：パネル展示

パンフレットの配布

スパイロによる肺年齢計測

DVD上映

来訪者：166人

第三地区 支部長：岸本茂己

・2009おおつ健康フェスティバル

日時：10月18日（日）

場所：皇子が丘公園体育館

内容：パネル展示

パンフレットの配布

血管年齢測定

DVD上映

来訪者：213人

6. 近畿技師会OB会名簿作成について

3. 協議事項

1・滋賀県医学検査学会（第一地区担当）について

日時：平成22年2月28日（日）

場所：長浜ロイヤルホテル

進捗状況の確認

演題募集を10月9日に発送

2. 創立55周年・法人化25周年記念式典の開催について

日時：平成22年2月28日（日）

場所：長浜ロイヤルホテル

1) 記念式典実行委員会の開催（報告）

日時：10月8日（木）18:00～20:00

場所：技師会会議室

議題：招待者リストの確認

表彰者リストの確認

アトラクションの確認

3・平成22年・23年度の理事会について

4・公益法人取得に向けての対応について

定款改定委員会の発足を検討

5・第51回近畿医学検査学会の開催について

日時：平成23年10月29・30日

場所：ピアザ淡海

6・生涯教育研修事業（HIV啓発事業）について

日時：12月12日（土）13:30～16:00

場所：ピアザ淡海

講演名：一忍び寄る感染症ー

講師：井上徹也 先生（社会保険滋賀病院）

7. 精度管理事業の進捗状況について

8. HPへの掲載基準（運用）について

会員施設からのHP掲載依頼について協議

研修会案内の携帯へのメール配信について協議

掲載内容について協議

9. 学術誌について

名称は・・・「滋賀医学検査」

（英文名）Shiga Journal of Medical

Technology

10. 日臨技会長選挙に関する投票依頼について

投票依頼文書を滋賀県会員送付。

11. その他

厚生部事業について協議

施設代表者会議は会議と同一日に開催予定

12月理事会で予算書と事業計画書を提出

4. 各部の連絡

学術部：12月12日次年度近畿学会シンポジウムの打ち合わせ

事務局：滋賀県病院大会は2月28日（日）に開催

議事録署名人 吉田 孝

竹島 通

平成21年12月定例理事会 議事録

日時：平成21年12月3日（木）17:00～19:00

場所：技師会会議室

出席者：瀬田、吉田孝、入野、横山、大本、内木
岡本、吉田忠夫、新川、松村、一岡、
速水、岩井

欠席者：竹島、桐畑、山本、（監事：阪口、立脇）

司会：吉田忠夫 理事

1・会長挨拶

2・報告事項

「日臨技」

日臨技会長選挙投票期限 12月2日（水）必着
会長選挙の動向について

選挙管理委員会・役員推薦委員会12月5日（日）

「近臨技」

1・第29回臨床検査大会（日本衛生検査所協会近
畿支部）

日時：11月9日（月）16:00～19:00

場所：シェラトン都ホテル大阪

2・第19回琵琶湖セミナー（呼吸機能検査研修会）

日時：11月14日（土）13:00～14:00

場所：ホテルラフォーレ琵琶湖

3・近畿臨床検査関連学会同時開催協議会

日時：11月28日（土）17:00～18:00

場所：みやこめっせ（京都市）

4・近畿理事会

日時：11月29日（日）12:00～13:00

場所：みやこめっせ（京都市）

議題：①日臨技各部会報告

②近畿技師会各部会報告

③各府県報告

④日臨技会長選挙について

各府県は会員に棄権のないように投票を働きかける。

⑤第49回近畿医学検査学会

参加者数 1389名

会員：1140名、検査医会：72名

検査所協会：77名 賛助：100名

チーム医療研修会 参加者：150名

5・近畿技師会学術部長・部門長会議

日時：11月29日（日）15:00～16:00

場所：みやこめっせ（京都市）

議題：①公文書の取り決めについて

②研修会の企画について

③日臨技部門委員の推薦について

「滋賀県」

1・各部の会計執行状況について

2・会議室の使用状況について

3・公益法人会計業務の進捗状況について

3・協議事項

1・滋賀県医学検査学会（第一地区担当）について

日時：平成22年2月28日（日）

場所：長浜ロイヤルホテル

進捗状況について確認

2・創立55周年・法人化25周年記念式典の開催
について

日時：平成22年2月28日（日）

場所：長浜ロイヤルホテル

①招待者の確認

②表彰について

③アトラクションについて

3・健康まつりの検証について

4・公益法人取得に向けての対応について

平成23年度申請に向けて定款の見直しと法人
会計についての検討をおこなう

5・第51回近畿医学検査学会の開催について

担当：（社）滋賀県臨床検査技師会

日時：平成23年10月29日（土）・30日（日）

場所：ピアザ淡海

検査医会総会長 日高 洋 先生

（大阪大学医学部 検査部部長）

検査所協会 佐守 先生

（医科学研究所）

準備委員会の立ち上げる

6・生涯教育研修事業（H I V啓発事業）について

日時：12月12日（土）12:00～17:00

場所：ピアザ淡海

講演名：－忍び寄る感染症－もう一度考えて

みませんか？エイズのこと

講師：井上 徹也 先生（社会保険滋賀病院

血液内科部長）

事業当日の役割分担を確認

7・精度管理事業の進捗状況について

平成22年3月13日（土）に報告会を予定

8・HPへの掲載基準について

会員施設からのHP掲載依頼について協議

9・学術誌の進捗状況について

10・厚生部事業について

日時：12月13日（日）

延暦寺散策と座禅修行

11・1月理事会の開催について

日時：平成22年1月16日（土）

15:00～17:00

場所：KKRホテルびわこ

12・定期予算総会の開催について

日時：平成22年3月26日（金）

18:30～19:30

場所：草津市立まちづくりセンター

各部会の事業計画・予算（案）を次回

理事会までに提出

13・その他

施設代表者会議は平成22年3月13日（土）

に精度管理報告会と同時開催の予定

議事録署名人 吉田 孝

入野 保

訂正とお詫び

滋臨技だより（No241号）の中に誤りがありました。訂正させていただくとともにお詫び申し上げます。

訂正内容：3ページ 下から2行目

誤：成人病センター病理部長 竹内英二先生 → 正：成人病センター病理部長 武内英二先生

施設紹介

～医療法人社団美松会 生田病院～

検査科 一岡 英樹

はじめに

12月上旬に「滋臨技だより」の施設紹介の原稿依頼があり、何をどのように書けばいいのか頭を悩ましていました。今まで諸先生方が書かれたのを読ましていただき、その中の大津赤十字病院の岸本茂己先生が書かれた文章、レイアウト等を勝手ではありますが引用させていただきました。岸本先生、申し訳ありません。

病院の基本理念と基本方針

基本理念 病める人が、治療をうけられて、一日も早く復帰されることを願います。

- 基本方針
1. 患者さんのプライバシーと人権を尊重します。
 2. 私たちは、安全で高度な医療の提供するように努めます。
 3. この地域の救急医療の充実に努めます。
 4. 医療サービスの提供機関としての自覚のもと地域との連携を深めるように努めます。

病院と検査科の歴史

当院の歴史は、甲賀郡甲西町中央二丁目（現 湖南市中央二丁目）に1981（昭和56）年に19床の生田胃腸科・外科・内科の診療所として開院したのがはじまりであります。

その後、1988（昭和63）年に84床に増床し生田病院になり、その翌年には、法人を取得し医療法人社団美松会 生田病院になりました。時代は医療だけではなく介護も大きな課題になり、制度としては2000（平成12）年からは医療保険と介護保険の2つの制度に分かれ、病院としても10年計画をつくり、その第1期計画として、2000（平成12）年に老健施設「ケアセンターこうせい」を甲賀郡甲西町菩提寺（現 湖南市菩提寺）に開所しました。そして2004（平成16）年4月に第2期計画として湖南市菩提寺の老健施設「ケアセンターこうせい」の隣に病院が移転しました。これが現在の病院であります。診療科は14科、病床は、一般病床99床、療養型病床群（医療保険）50床、療養型病床群（介護保険）50床の計199床です。

当院の検査室のはじまりは、1988（昭和63）年4月に病院になったときで、当初は検査技師1名のブランチラボでした。私が配属されたのは翌年1989（平成1）年1月のことで、病院を法人にするためには検査技師を病院で雇用するようにと県の指導があり、同年4月より病院の職員となりました。病院が現在の地に移転したときに、3名に増員し現在に至っています。

検体検査は緊急検査のみで、機器は、ブランチラボの名残で外注先より提供されたものを使用しており、いわばFMS方式の状態が続いております。

検査室がブランチラボではじまった頃は、自動血球計数機は血小板の測定できない半自動の血球計数機、輸血検査においては、血液型検査はおもて試験は院内、うら試験は外注、交差適合試験も3本までは院内、残りは外注、尿沈渣や便潜血までもが外注という状況でした。私が病院の職員になってからは、特別な機器を使用せずにはできるものについては院内でできるようにしましたが、生化学検査等の検体検査は外注するという病院の方針があり、大型機器を導入できずにあります。生理検査では、1999年よりホルター心電図の簡易解析機を導入し、翌日の朝には結果が返せるよう努めております。

検査科の業務

検査は、主に朝の病棟の検査と、8時半～12時、16時半～19時までの外来診療時間内であるが、時間外でも来られた患者様は診察をするという理事長の方針もあり、8時前から心電図検査や健康診断の方が来られ対応できるようにしています。検体検査は、大半を外注しており院内至急の指示があるときのみ、電解質・血糖・末梢血液一般・感染症検査等を実施しております。生理検査は、当初心電図のみでしたが、呼吸機能、眼底検査、血圧脈波、乳腺エコーのみですが超音波検査を実施しており、頸動脈エコーの要望もあり今後取り組んでいければと考えております。

2004（平成16）年4月以降、健康診断の身長・体重・腹囲測定、視力検査、聴力検査にも取り組み、耳鼻咽喉科の聴力検査、チンパノメトリーにも出向いて検査をしております。

関連団体の特別養護老人ホーム「美松苑」が開所したころは、心電図を取りに行っていましたし、病院が現在の地に移転した頃は、疥癬が蔓延していて皮膚科がまだありませんでしたので、病棟に出向いて皮膚を採取し疥癬有無を検査していました。疥癬は院内だけにとどまらず、ケアセンター、美松苑まで広がり、顕微鏡をもって検査に出向くこともありました。また、別の関連団体として三重県阿山町（現 伊賀市）に河合診療所あり、年に1～2度呼吸機能の検査に機器をもって出向いております。

また、C P A状態の患者さんが搬送されてきた時には、患者さんの救命にスタッフの一員として協力しております。

チーム医療では、院内感染防止対策委員会の感染症情報の週報、年報の作成を最初に取り組み、昨年度からI C Tラウンドを立ち上げ実施しております。輸血療法委員会では、2004（平成16）年4月以降、血液製剤の一元管理を実施、管理料取得、適正使用に向けて発注伝票の見直し、一製剤ごとの副作用報告書の作成など取り組んでおります。

最後に

マスコミ等で医師不足が騒がれていますが、当院も例外ではなくその影響のせいか昨年度より外来患者数が減少しており、検査依頼数も減っております。先行きに不安を感じつつ、今後検査室としてどのように取り組んでいくか、業務を拡充していくか考慮中です。

検体検査



超音波検査室



心電図検査



健診計測室



会 員 動 向

○平成20年12月2日現在 総会員数 531名

氏名変更

会員番号	変更後	変更前
254476	山本 愛津子	二川 愛津子

○平成21年1月15日現在 総会員数 531名

施設名称の変更

施設番号	新施設名称	旧施設名称
9250103	三愛小児科診療所	湖南メディカルセンター三愛小児科診療所
9250039	長浜市立 湖北病院	伊香郡病院組合立 湖北総合病院

転出

会員番号	氏名	所属	旧所属
277910	下村 智美	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	独立行政法人国立病院機構 国立滋賀病院
254515	柴田 華恵	愛知県技師会 (自宅会員)	

転入

会員番号	氏名	所属	旧所属
270788	山本 信夫	自宅会員	大阪府

○ 事業案内 ○

◆第4回病理・細胞検査分野研修会

日時：平成22年2月20日(土)16:00～18:00
会場：滋賀医科大学臨床講義棟1階
臨床講義室2

◆第20回近臨技形態検査部門血液検査分野研修会

日時:2010年3月13日(土)・14日(日)
会場：クオリティホテル神戸16F
「バルセロナ」

◆第32回滋賀県医学検査学会

日時:平成22年2月28日(日)8:30～11:40
会場：長浜ロイヤルホテル

◆平成21年度滋賀県臨床検査精度管理報告会

日時:平成22年3月13日(土)15:00～
会場：アーバンホテル

◆法人化25周年・創立55周年記念式典

日時:平成22年2月28日(日)11:50～15:20
会場：長浜ロイヤルホテル

◆平成21年度第2回定期総会

日時:平成22年3月26日(金)18:30～19:30
会場：草津市立まちづくりセンター

お 知 ら せ

滋賀県臨床検査技師会HP、各部局のページに

- 1) 研修会の開催申請とホームページ掲載方法
- 2) ホームページ掲載についての取り決め
- 3) 求人情報掲載依頼書
- 4) 事業案内掲載依頼書

を掲載しました。

第242号滋臨技だより

2010年2月15日

発行所 滋賀県臨床検査技師会

編集者 吉 田 孝
岩 井 宗 男
新 川 由 基

印刷所 平田印刷